科 名:京都看護助産学校



副学校長 山本 薫里



助産師科 教育主事 渡邊 玲子



看護師科 教育主事 松元 由美



看護師科 教育主事 岡村 稔子

I 看護学校の概要

1. 名称

独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター附属京都看護助産学校

2. 所在地

〒 612 - 8555 京都市伏見区深草向畑町 1 の 1

TEL (075) 645 - 8401 ダイヤルイン (6008) HP http://www.hosp.go.jp/-kyotolan/ (075) 641 - 9161 (学校直通)

3. 沿革

昭和24年4月1日 国立京都病院附属高等看護学院として開設

1学年定員30名 総定員90名

昭和43年4月1日 1学年定員50名 総定員150名

昭和44年4月1日 助産婦科の附設 1学年定員35名 総定員35名

国立京都病院附属高等看護助産学院看護婦科・助産婦科に名称変更

昭和50年4月1日 国立京都病院附属看護助産学校看護婦科・助産婦科に名称変更

昭和51年4月1日 専修学校(専門課程)に認定

平成 9 年 4 月 1 日 国立京都病院附属看護助産学校看護学科・助産学科と改称

平成14年4月1日 国立京都病院附属看護助産学校看護師科・助産師科と名称変更

平成16年4月1日 国立療養所宇多野病院附属看護学校(3年課程)と国立療養所南京都

病院附属看護学校(2年課程)と3校が統合、大型校となり独立行政 法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校に名称変更

看護師科 1学年定員80名 総定員240名

助産師科 1学年定員35名 総定員35名

(平成24年3月31日現在) 卒業生数

看護師科 (1回生~53回生) … 1,968名

(1回生~8回生) … 594名(統合後)

助産師科(1回生~43回生)…1,274名

4. 課程·定員

課程	学科				入学定員	総定員	在籍者数(平成24年3月1日現在)				
珠性					八子足貝	心足貝	1年生	2年生	3年生	合計	
看護専門課程	看護師科(3年課程)		80 人	240 人	82 人	76 人	77 人	235 人			
看護専門課程	助 産 師 科		35 人	35 人	34 人			34 人			
計			115 人	275 人	116 人	76 人	77 人	269 人			

|| 教育理念・目的

1. 教育理念

本校は、国立病院機構附属の養成所であり、国立病院機構の病院が担っている役割や機能を理解し、 将来の国立病院機構の医療をリードしていく看護実践力をもつ看護師を育成することを責務としてい る。

人間愛を基盤とし、生命の尊厳と人権の尊重ができる感性豊かな人間性を育てることに主眼をおき、感じる心・考える力・主体的に行動する学生の育成を目指している。感じる心とは、人間に関心をもつことができ、生命の大切さや多様な価値観を感性豊かに感じとり物事の変化に気づくこと、考える力とは、状況の意味を自ら考え、専門的知識を活用して分析・判断する力のこと、主体的に行動するとは、感じ考えたことを自らすすんで表現し行動に繋げることができ責任がとれること、自己の目標達成に向けて卒業後も継続的に学習することを言う。

人間は、自己実現を目指し変化しようとしている存在であるが、現代の若者は生活体験が乏しいことから事象をイメージしにくく想像力・理解力が未熟な傾向にあるため、看護専門職として必要な基礎的知識、技術、態度を習得にあたり、体験的・実践的学習をとりいれわかりやすい授業を実践する。また、臨地実習での学びを充実させるために学びやすい環境づくりに力を入れる。さらに、医療・看護の動向をふまえ、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

2. 教 育 目 的

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構 及び社会に 貢献し得る有能な人材を育成する。

3. 教育目標

- 1. 生命の尊厳と個々の人権を尊重できる感性豊かな人間性を養う。
- 2. 看護の対象である人間を総合的に理解する能力を養う。
- 3. 科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 4. 人々の多様な価値観を認識し、専門職業人として共感的態度及び倫理に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 5. 人々の最適な健康状態を目指し、生活を支援できる看護実践の基礎的能力を養う。
- 6. 保健・医療・福祉の連携の中で調整的役割を果たす基礎的能力を養う。
- 7. 国際化・情報化時代に対応できる基礎的能力を養う。
- 8. 専門職業人としての自覚と責任をもち、主体的に看護を向上発展させていく姿勢を養う。

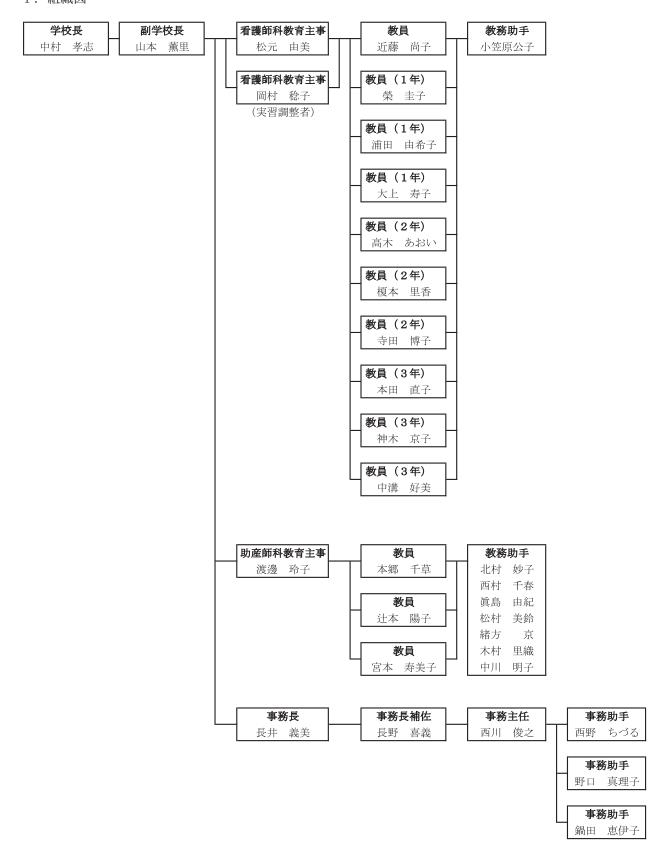
コンセプト

感じる心 考える力 そして・・・行動を

- 4. 平成23年度 運営方針
 - (1)教育の質の向上
 - ①カリキュラムの検討および評価
 - ②教育方法の検討
 - ③看護技術の経験状況および到達度向上のための定期的調査
 - (2) 安全・倫理教育の推進
 - ①実習における事故防止策の検討
 - ②個人情報保護の遵守と徹底
 - ③実習場面における倫理教育の徹底
 - (3) 教員の質の向上
 - ①授業研究への参加
 - ②研究・学会参加等自己研鑽の推進
 - ③継続教育への講師派遣、研修受け入れ
 - ④学生の学会発表指導
 - ⑤研修日の確保(月1回)
 - (4) 帰属意識への取り組み
 - ①機構施設への就職率80%以上の確保(助産師科:50%)
 - ②学生フォーラムへの支援
 - (5) 学生支援
 - ①学生の情報共有
 - ②定期的、タイムリーな面接実施
 - ③自治会支援
 - ④クラブ活動支援
 - (6) 質の高い学生の確保
 - ①計画的な広報活動
 - ②積極的な学校訪問
 - ③業者主催の説明会への参加
 - (7) 働きやすい職場環境 コンセプト: 育つ、育てる環境作り
 - ①風通しの良いコミュニケーション
 - ②学年を超えた教員間の協力体制
 - ③離職防止
 - ④計画的な年休取得推進
 - ⑤タイムリーな連絡・報告・相談

|||. 本学の組織

1. 組織図



2. 教育経験年数

· 1X H / L 4X 1 9X									
	教員	員の種	別	教育年数	専門領域				
	副学校長	(山本	薫里)	16年	基礎看護学				
	教育主事	(松元	由美)	13 年	基礎看護学				
	教育主事	(岡村	稔子)	10年	基礎看護学				
	教 員	(近藤	尚子)	17 年	基礎看護学				
	教 員	(榮	圭子)	11 年	精神看護学				
看	教 員	(高木な	あおい)	6 年	成人看護学				
護	教 員	(神木	京子)	5 年	成人看護学				
師	教 員	(本田	直子)	5 年	成人看護学				
科	教 員	(中溝	好美)	3 年	老年看護学				
	教 員	(浦田自	由希子)	3 年	小児看護学				
	教 員	(榎本	里香)	1 年	成人看護学				
	教 員	(大上	寿子)	0 年	成人看護学				
	教 員	(寺田	博子)	0 年	成人看護学				
	教務助手	(小笠原	原公子)	16年	母性看護学				
	教育主事	(渡邊	玲子)	助8年	助産学・母性看護学				
	教 員	(本郷	千草)	看8年・助1年	助産学				
	教 員	(辻本	陽子)	助1年	助産学				
	教 員	(宮本寿	身美子)	0 年	助産学				
助産	教務助手	(北村	妙子)						
産 師		(西村	千春)						
科		(眞島	由紀)						
		(松村	美鈴)						
		(緒方	京)						
		(木村	里織)						
		(中川	明子)						

3. 職員・講師数

教員の種別		専 任	兼任		職員の種別	専 任	兼任
教	が良い住が	,1 IT	(看)	(助)	机员切住加	,1 T	
教職員	保健師	币 0名 0名 1名 4		事務職員	3名	3名	
貝 に	助産師	4名	5名	10名	その他の職員	0名	0名
関す	看護師	13名	23名	2名	合 計	3名	3名
関する事項	医師 (歯科医師含む)	0名	33名	17名			
項	その他の教員	0名	24名	8名			
	合 計	17名	85名	38名			

IV. 学生募集

1. 入学試験実施状況

<看護師科>

	一次試験	二次試験	合格発表		
一般入学試験	平成24年1月19日(木)	平成24年1月21日(土)	平成24年1月26日(木)		
社会人入学試験	平成23年11月17日(木)	平成23年11月19日(土)	平成23年11月24日(木)		

<助産師科>

	一次試験	二次試験	合格発表		
一般入学試験	平成24年1月19日(木)	平成24年1月21日(土)	平成24年1月26日(木)		
特別選抜入学試験	平成23年11月17日(木)	平成23年11月24日(木)			

2. 入学状況 (過去5年)

<看護師科>

く 日 成 中 イコン								
年度 (回生)	試験		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
5 10 1	社 会	人	73	72	45			
平成 19 年 (第 6 回生)	_	般	182	176	80			
() (合	計	255	248	125	81	1	74
N 00 F	社 会	人	90	83	41			
平成 20 年 (第7回生)	_	般	190	182	82			
(24, 117)	合	計	280	265	123	94	1	97
	社会	人	66	63	42			
平成 21 年 (第 8 回生)	_	般	137	127	53			
() 4 9 11/	合	計	203	190	95	80	3	
T . N 00 F	社 会	人	109	101	43			
平成 22 年 (第 9 回生)	_	般	156	147	56			
()	合	計	265	248	99	81	1	
T - 4 00 F	社 会	人	108	106	44			
平成 23 年 (第 10 回生)	_	般	177	172	61			
	合	計	285	278	105	82		
平 均	2 5	8	246	109	84	2		

<助産師科>

年度 (回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
	特別選抜 (学校)	10	10	10			
平成 19 年 (第 39 回生)	特別選抜(施設)	4	4	4			
(第 39 回生)	一般	188	176	21			
	合計	202	190	35	34	1	33
	特別選抜 (学校)	6	6	6			
平成 20 年 (第 40 回生)	特別選抜(施設)	2	2	2			
(第 40 回生)	一般	207	196	30			
	合計	215	204	38	35	4	31
	特別選抜 (学校)	8	8	8			
平成 21 年	特別選抜(施設)	3	3	3			
(第41回生)	一般	154	150	27			
	合計	165	161	38	34	2	33
	特別選抜 (学校)	8	8	8			
平成 22 年 (第 42 回生)	特別選抜(施設)	2	2	2			
(第42回生)	一般	137	136	28			
	合計	147	146	38	34	2	32
	特別選抜 (学校)	16	16	16			
平成 23 年	特別選抜(施設)	5	5	5			
(第43回生)	一般	108	106	17			
	合計	129	127	38	56		
7	立 均	172	166	37	39	2	

3. オープンキャンパスの実施

<看護師科>

	日 程	内 容	参加人数
1	平成23年6月11日(土)		22 人
2	平成23年7月23日(土)	学校の概要説明、校舎内見学	63 人
3	平成23年8月6日(土)	学校生活紹介、学生メッセージ 入試概要説明	78 人
4	平成23年8月21日(日)	質疑・応答、個別相談	76 人
5	平成23年10月15日(土)		46 人
		合計	285 人

<助産師科>

	日程	内 容	参加人数
1	平成23年8月13日(土)	学校の概要説明、校舎内見学	48 人
2	平成 23 年 8 月 20 日(土)	学校生活紹介、学生メッセージ	56 人
3	平成 23 年 9 月 10 日(土)	質疑・応答	34 人
		合計	138 人

V. 学生生活

- 1. 心身の健康保持・増進
 - 1) カウンセリング

カウンセラーによるカウンセリングを週1回(放課後)に実施している。

2) 健康診断

健康管理規定に基づき、定期的に実施している。

項目	対 象	4月	7月	10月	1月
1. 身体測定	全学生	0	0	0	0
2. 胸部X線撮影	全学生	0			
3. 血圧測定	全学生	0		0	
4. 検尿 (糖、蛋白、潜血、ウロビリノーゲン)	全学生	0		0	
5. 内科総合診断	全学生	0		0	
6. 採血 (梅毒反応、HB、HCV、麻疹、風疹 水痘、ムンプス抗体検査)	新入生	0			
7. ツベルクリン反応検査	新入生 (2,3 年生の陰性者)	0			
*検便は実習前に実施					

2. 課外活動 : 看護師科

1) 自治会活動

< 前 期 >		< 後 期 >
自治会総会	11月	自治会総会
	12月	大掃除
大掃除	1月	新春コンサートへの参加
	2月	国家試験激励会
	3月	予選会
戴帽式のお祝い	4月	新入生歓迎会
自治会総括		
後期自治会選挙		
自治会総括		
前期自治会選挙		
	自治会総会 大掃除 戴帽式のお祝い 自治会総括 後期自治会選挙 自治会総括	自治会総会11月12月12月大掃除1月2月3月戴帽式のお祝い4月自治会総括後期自治会選挙自治会総括

2) クラブ活動

(1) バレーボール部

毎週 水・木・金 曜日 16:30~18:00 体育館

あじさい杯 平成23年7月2日(土) 開催

*京都看護助産学校主催で近畿ブロック附属看護学校5校のバレーボール部が集まる大会。毎年 開催している。

(2) 茶道部

隔週 木 曜日 16:30~18:30 在宅看護実習室

七夕茶会 平成 23 年 7 月 15 日 (金) 開催 初釜茶会 平成 24 年 1 月 13 日 (金) 開催

(3) 園芸部

不定期開催

患者さんたちに季節の花を見てもらえるよう、草花を植えて手入れをしている。

3) ボランティア活動

平成24年1月:自治会有志 新春コンサート(合唱、トーンチャイム演奏)

平成24年3月:3年生 病院清掃ボランティア、禁煙キャンペーン

緩和ケア病棟コンサート(ハンドベル演奏)

1年生・3年生有志 南京都病院 引越しボランティア

VI. 卒業生の進路

1. 就職・進学状況(過去5年)

<看護師科>

					就職	(人)				進学	(人)		未
		卒業者数		病院	官	法	そ	看護職	保	助	養	大	
年度	回生	者 数	機	構				職	<i>[17±</i> 1±	- 	護		就
		入	自施設	他施設	公		の	以外	健	産	教		
			設	設	<u> </u>	人	他	21	師	師	諭	学	職
平成19年3月	第3回生	61	25	15	6	2	0	0	6	6	1	0	0
平成20年3月	第4回生	68	28	22	2	5	0	0	3	1	0	6	1
平成21年3月	第5回生	80	24	35	7	1	0	0	0	5	0	8	0
平成22年4月	第6回生	74	38	18	3	7	0	0	0	4	0	3	1
平成23年4月	第7回生	97	34	41	7	2	3	0	0	7	1	2	0
平	均		30	26	5	3	1	0	2	5	0	4	0

<助産師科>

	1		r							
					就職	(人)			進	未
年度	回生	卒業者数		病院構	官	法	そ	看護職		就
		<u>S</u>	自施設	他施設	公立	人	の他	以外	学	職
平成19年3月	第38回生	34	1	15	7	11	0	0	0	0
平成20年3月	第39回生	33	3	13	8	8	1	0	0	0
平成21年3月	第40回生	30	2	12	9	2	5	0	0	0
平成22年4月	第41回生	33	4	12	11	6	0	0	0	0
平成23年3月	第42回生	32	3	9	11	7	2	0	0	0
平	均		3	12	9	7	2	0	0	0

2. 国家試験(過去3年)

<看護師科>

		全国 (%)		機構附属(%)	
		至国 (%)	全国	近畿	京都
9 9 回 (H22.3)	全体 (新卒)	89.5 (93.9)	97.6 (98.1)	99.0	100
1 0 0 回 (H23.3)	全体 (新卒)	91.8 (96.4)	98.9 (99.1)	99.4	100
1 0 1 回 (H24.3)	全体 (新卒)	90.1 (95.1)	98.6 (98.9)	99.1	100

<助産師科>

		全国 (%)	機構附属(%)		
		土国 (70)	全国	京都	
9 3 回 (H22.3)	全体 (新卒)	83.1 (83.2)	91.2	96.9	
9 4 回 (H23.3)	全体 (新卒)	97.2 (98.2)	91.2	100	
95回 (H24.3)	全体 (新卒)	95.0 (96.0)	100	100	

VII. 教員の研究および研修参加

1. 研究活動

日程	学会名	テーマ	研究者 (○発表)
平成 23 年 9 月	第52回 日本母性衛生学会	助産師学生の妊娠期の助産診断能力向上をめざした実習前の OSCEの実施と評価	○辻本陽子 本郷千草 宮本寿美子 伊藤美栄 渡邊玲子
		脳梗塞後患者の手指の拘縮を予 防した手浴	○3年生 西岡 明美 教育主事 松元 由美
平成 23 年 10 月	第 64 回 国立病院総合医学会	ボディイメージの変化が生じた成人 期患者への援助	○3年生 魚野 智子 教 員 中溝 好美
		精神看護学実習における実習指 導案の検討	教 員 近藤 尚子 辻本 陽子
平成 23 年 10 月	近畿地区	終末期における疼痛緩和の援助	○3年生 吉田 佑 教 員 本田 直子
平成 23 年 10 月	第 53 回看護学会	重症心身障害児の残存機能を生 かす コミュニケーション	○3年生 中村 恵 教 員 神木 京子
平成 23 年 10 月	第 42 回日本 看護学会(看護教育)	終末期における患者を受け持っ た看護学生の死生観に関係する 実習での経験	教 員 浦田 由希子 本郷 千草

<教員研修会 研究グループ>

	テーマ	教員
1G (看護の統合)	卒後1、2年目看護師による卒業前演習の評価	神木 京子 本田 直子 高木 あおい
2G (基礎看護学)	専門分野における看護実践能力の向上に向けた授業案の作成	寺田 博子 宮本 寿美子
3G (成人看護学)	終末期にある患者を受け持った看護学生の経験に関する研究	浦田 由希子 本郷 千草
4G (成人看護学)	成人終末期患者の全人的苦痛を理解するための授業案の検討	大上 寿子 榎本 里香
5G (老年看護学)	高齢者疑似体験後の"高齢者"理解の比較〜学生背景をふまえて〜	中溝 好美 榮 圭子
6G (精神看護学)	実習指導案使用における評価についての検討	近藤 尚子 辻本 陽子

2. 研修参加状況

日程	研修内容	参加人数
平成 23 年 7 月	新任中間監督者研修(近畿ブロック)	2 人
平成 23 年 7 月	幹部看護師(看護師長等)管理研修 I	1人
平成 23 年 7 月 ~ 11 月	教員の育成(1・2年目)(近畿ブロック) 教育力向上のための授業研修の実施	3 人
平成 23 年 8 月・12 月	1・2年目教員研修(近畿ブロック)	3人
平成 23 年 9 月	夏期合同研修会	12 人
平成 23 年 11 月	新人教員研修 (機構本部)	2 人
平成 23 年 12 月	中堅教員育成研修	1人

VIII. 社会への貢献

1. 公開講座

	日 程	テーマ	参加者数
	平成23年6月22日(水)	基礎看護技術「車椅子への移動・移送」援助	27 人
	平成23年7月23日(土)	看護学生体験:手洗い体験、妊婦体験・新生 児おむつ交換、救急救命体験	43 人
看護師科	平成23年8月6日(土)	看護学生体験:手洗い体験、妊婦体験・新生 児おむつ交換、救急救命体験	40 人
	平成23年8月21日(日)	看護学生体験:手洗い体験、妊婦体験・新生 児おむつ交換、救急救命体験	40 人
	平成23年10月15日(土)	足腰にいい!老化を防ぐ口コモ体操!	13 人
助産師科	平成23年8月20日(土)	女性のための健康教室	16 人
		合計	179 人

2. 教員の講習会、研修等の講師

日程	研修内容	教員		
平成 23 年 6 月~7月	平成 23 年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 講義講師	山本		
	平成23年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 演習指導案助言講師	高木 あおい 本田 直子		

3. 研修受け入れ

日程	研修内容	受け入れ数
平成 23 年 11 月~平成 24 年 3 月	近畿ブロック副学校長教育主事協議会主催 看護学校インターンシップ	7人

IX. 施設と設備

1. 建物の概要

	区 分	建築年数	構造・階	面積(m³)	摘 要
看護師科	校舎	平成16年	RC 4階	延:3037 ㎡ 建:1002 ㎡	
 	校舎	昭和54年	RC 2階	延:850 m 建:469 m	
助産師科	寄宿舎		RC 5階	延:540 m² 建:111 m²	
共通	図書棟	平成16年	RC 2階	延:704 m 建:421 m	
大 地	体育館	平成3年	RC 2階	延:664 m² 建:600 m²	

2. 図書・ビデオ保有数

<図書>

(平成24年3月31日現在)

	基礎科目	専門基礎 科目	専門分野	その他	雑誌	合計
看護師科	3,160	2,573	8,546	29	34 種	14,308
助産師科	528	922	1,935	8	19 種	3,393

<ビデオ>

(平成24年3月31日現在)

		基礎科目	専門基礎科目	専門分野	その他	合 計
	f 護 師 科	0	121	703	25	14,308
耳	力 産 師 科	0	74	228	0	302

X. 会議一覧

• 女哦	見
月	開催状況
4月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(3回/月)
5月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議 (2 回/月)
6月	運営会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議 (3 回/月)
7月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
8月	教員会議 (8回/月)
9月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議 (2 回/月)
10 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
11 月	運営会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月) 入試委員会(社会人入試・特別選抜入試) 一次試験合否判定会議・二次試験合否判定会議
12 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議 (3 回/月)
1月	運営会議 教員会議(3回/月) 入試委員会(一般入試) 一次試験合否判定会議・二次試験合否判定会議
2月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(3回/月)
3月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)